

福島第一原子力発電所の状況

2016年2月10日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (2/10 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.6 m ³ /h	14.3	2.67 kPa g	A系： - vol %
		炉心スプレイ系：約1.9 m ³ /h			B系： - vol %
2号機	淡水 注入中	給水系：約1.8 m ³ /h	18.9	2.81 kPa g	A系： 0.01 vol %
		炉心スプレイ系：約2.4 m ³ /h			B系： 0.01 vol %
3号機	淡水 注入中	給水系：約1.9 m ³ /h	17.2	0.23 kPa g	A系： 0.07 vol %
		炉心スプレイ系：約2.3 m ³ /h			B系： 0.08 vol %

作業に伴いデータ欠測

[1号機]

原子炉格納容器ガス管理設備は、当該設備の信頼性向上を目的に改造工事を行うため、設備停止を計画している。当該設備は、特定原子力施設に係る実施計画「特定原子炉施設の保安」(以下、「実施計画」という)第1編第24条において、運転上の制限として「原子炉格納容器ガス管理設備の放射線検出器が1チャンネル動作可能であること」が求められている。

そのため、設備停止中は、上記の運転上の制限を満足しない状態となることから、実施計画第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し、計画的に運転上の制限外に移行して作業を実施する。

当該設備の停止予定日は以下のとおりであり、作業日毎に当該設備を停止し、作業終了後に復旧する。

< 停止予定日 > 2016/2/8、9、10、11、12

2016/2/8 9:41 ~ 作業開始、14:42 作業終了、17:05 適用解除。

2016/2/9 9:40 ~ 作業開始、15:32 作業終了、17:16 適用解除。

2016/2/10 9:37 ~ 作業開始。

< 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (2/10 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	停止中	10.8 ¹
2号機	循環冷却システム	運転中	25.5
3号機	循環冷却システム	運転中	17.9
4号機	循環冷却システム	停止中	- ²

各号機 SFP および原子炉ウエルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

1 SFP 代替冷却システム停止中のため、至近のデータ(2/5 11:00)を記載。

2 2/9 発生の SFP 代替冷却システム自動停止に伴うデータ欠損。

[1号機]

SFP 代替冷却系について、当該系統の弁点検のため、2/5 14:37 に冷却を停止(2/17 18:00 までの約 292 時間停止予定)。冷却停止時の SFP 水温度は 11.1 。冷却停止期間における SFP 水温度上昇率は 0.055 /h で、停止中の温度上昇は最大で約 16.1 と評価されることから、運転上の制限値 60 に対して余裕があり、SFP 水温度の管理上問題ない。

< 3. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (2/10 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	停止中 ^{*1}	運転中 ^{*1}	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 4 . その他 >

- ・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
2016/2/9 陸側遮水壁の凍結に必要となる工事が完了。
- ・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- ・2016/1/21～ H4エリアにおいてフランジ型タンクの解体を開始。
- ・2016/2/9～ 3号機原子炉建屋1階にて、1/26より高所用除染装置(ドライアイスブラスト除染装置)による高所部の吸引除染を実施していたが、準備が整ったことから、ドライアイスブラスト除染を開始。
- ・2016/2/8～ 構内において発生した雑固体廃棄物を焼却処理するため、雑固体廃棄物焼却設備を設置し、汚染のない模擬廃棄物を用いた焼却試験を進めてきたが、当該設備の性能に異常のないことが確認できたことから、2/8 16:05～汚染のある雑固体廃棄物を用いた焼却試験(ホット試験)を実施。

[1号機原子炉建屋カバー解体作業]

- ・2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。
7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。
- ・2016/1/8～ 支障鉄骨の解体作業を開始。

[サブドレン他水処理施設の状況]

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
9/17～ 地下水のくみ上げを昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え。
- ・一時貯水タンクBの当社および第三者機関による分析結果[採取日2/3]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることから、2/10 10:03より海洋への排水を開始。なお、排水状況については、同日 10:07に漏えい等の異常がないことを確認。
- ・一時貯水タンクCの当社および第三者機関による分析結果[採取日2/4]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることから、2/11に海洋へ排水予定。

[地下水バイパスの状況]

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12のサンプリングを継続実施中。
- ・一時貯留タンクグループ2の分析結果[採取日1/28]については、運用目標値を満足していることから、2/9 9:55～16:01に排水を実施。排水量は1,532m³。

[1～3号機放水路の状況]

- 1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。
- <最新のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて]

- <K排水路排水口のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[H4、H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連]

- <H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況]

- <地下水観測孔・海水サンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績]

- <地下貯水槽サンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。